

平成15年度

県立高等技術専門校
評価システム

内部評価結果

会津高等技術専門校

目 次

1	内部評価結果（総括）	1
2	普通課程		
	(1) 電気システム科	3
	(2) 自動車実務科	6
	(3) 環境システム科	9
	(4) 観光サービス科	12
3	在職者訓練	15
4	離転職者訓練	17
5	運営	19

内部評価結果（総括）

会津高等技術専門学校

【評価結果概要】

1 普通訓練

関連業界・団体からの意見を反映させ、平成13年4月に1年課程の観光ビジネス科を2年課程観光サービス科に、平成15年4月に1年課程の電気科を2年課程電気システム科にそれぞれ再編整備し企業ニーズ等の対応に努めている。

また、職種別推進会議、能力開発推進会議及び企業訪問等で地域や業界の具体的なニーズを直接把握し、訓練目標に反映させ教育訓練を実施していることから、概ね評価できる。

普通訓練課程には4科あり、いずれも訓練目標、訓練内容については厚生労働省の現行基準に整合しており、更に自動車実務科は国土交通省、電気システム科は経済産業省認可の技術者養成施設であることから、その基準にも即して計画・実施している。

さらに、厳しい雇用情勢にも対応し職業意識の高揚及び職業人としての規律、礼儀態度を身に付ける指導を教育訓練に取り入れ、就職内定率100%を毎年達成するなどの成果をあげていることも評価できる。

施設設備については、厚生労働省の基準に基づいて整備されており評価できるが、施設の大部分は、昭和57年度に新設され今日に至るまで、学科再編等が幾度かあっても増築等はしないで対処してきたため、一部現状にそぐわない部分もあるので、更に利用方法について工夫するとともに技術革新に対応した設備・機器の充実に努めていく必要がある。

応募状況は、各科定員を上回っているが、新設して間もない学科については、応募対象者等に対して更にその内容等について理解を得るよう努めていく必要がある。

入学試験は、3校で協議を重ね、また、入学試験説明会を実施し高校進路指導担当者に説明にあたりるとともに意見要望などを聴き、これを選抜方法に反映しており評価できる。

定着率は、個人の考え、企業の事情等本校の及ばない要因も関係しているものの、必ずしも評価できるものとなっていないので、個々の学生の適性に応じた職業指導、在学中の早い時期から企業の現状を把握するためのインターンシップ導入などを図り、定着率の改善に努める必要がある。

資格取得については、教育訓練の成果の一つとして、また、就職活動の有効な手段としてその取得に取り組んでいるが、高度な専門知識・技術を要する資格試験の一部資格については目標値まで至っていないものもあり、合格率を向上させるために学生の取得意識をさらに高めること、指導内容・時間の組み替え、補習授業の強化などの対策を講じていく必要がある。

なお、平成14年度から、整備技術のみならず自動車に関する環境問題等についての知識・技能を持った整備士養成に向けて、一級自動車整備士資格試験が実施されるようになった。

このため、自動車整備業界から求められている二級自動車整備士資格については、100%取得しているが、今後、一級自動車整備士に対する取り組みを在学中から導入し指導内容の高度化を図り、卒業後受験資格に達した場合これに挑戦できるようにしたい。

2 在職者訓練

訓練目標・内容については、厚生労働省の基準や計画に基づいて実施している面は評価される。

地域、企業団体や受講者からのニーズの把握が十分でないので、本校設置の普通課程との関連性のある業界を中心にニーズ調査を行うなど着実な取り組みが必要である。

募集方法についても限られた手段、対象となっているので、これをより多様なPR手法、及びより広範な周知活動が必要である。

3 離転職者訓練

公共職業安定所や地域企業からの協力により、これ等のニーズを踏まえた訓練内容で目標も達成されており、応募者も定員を超える状況にあり評価できる。

就職状況については、受講者の職業能力の向上が図られているにもかかわらず、厳しい雇用情勢や就職に対する意識のミスマッチ等により雇用までに至っていない場合があり、更に受講者への職業相談活動を積極的に実施する必要がある。

4 運営

訓練組織については、関連企業等の協力を得て非常勤講師を委嘱し、企業での実践的技術指導に努めており評価できる。

指導員の研修については、普通課程では概ね計画的に研修を実施しているが、在職者・離転職者訓練部門では広範囲な地域・産業界からのニーズに対応できる研修体系や生涯に通じたキャリアアップのための手法を取り入れる必要から研修内容、研修先等の情報を収集し、これらの課題に対応できる研修体制を整備する必要がある。

地域職業能力開発推進会議は、関連の深い団体企業に属している委員から、地域・産業ニーズに関する意見を得、教科指導計画・内容に活かしており評価できる。

学生の福利厚生に必要な施設は、概ね整備されているが、昭和57年に新設された当時との社会状況の変化に対応が十分でない部分があり、更衣室等の整備を要する。

5 あとがき

本校が位置し、業務の主たる対象となる会津方部の特徴として、面積は広大であるが山間地が多く、人口密度も低いことから事業の周知活動や学生募集、離転職者訓練募集活動等については難しい側面をもっている。

離転職者訓練事業にあたって、企業経験者等の嘱託員が配属になり、より活動範囲が広がったことはこの点で大きな改善となっている。

また、普通課程の学生募集にあたっては入学希望するものの自宅通学が困難なため、断念したなどの話を聞くことが多く、積雪地帯、交通アクセスの問題に対応した対策も更に考えていく必要がある。

評 価 項 目				内 部 評 価		
大項目	中 項 目	小 項 目	指 標			
1 普 通 課 程	(1)普通課程訓練目標 多様な技能及びこれに関する知識を有する人材を育成し、地域・産業の発展に寄与するため、普通課程における職業訓練目標が、地域・産業ニーズを勘案し、訓練科ごとに設定され、かつ、実現に向け努力されていること。	目標設定 普通課程訓練目標が、訓練科ごとに設定され、適切であること。	—	(A) B C	【課題】国(厚生労働省)の基準に基づいて設定しているが、更に経済産業省の第2種電気工事士養成施設の指定を受けていることから、その基準についても達成できる目標設定している。	
		ニーズ導入 普通課程訓練目標が、地域・産業ニーズを勘案し設定されていること。	—	(A) B C	【課題】地域・産業ニーズを把握した結果2年課程を編成した。	
		目標達成 普通課程訓練目標の実現に向け、努力されていること。	—	(A) B C	【課題】平成15年度設定のため実施は今後であるが、技能照査等目標達成状況点検を逐次予定している。	
	(2)普通課程訓練内容 各訓練科の職業訓練目標の実現のため、必要な技能及び知識を習得させるための職業訓練内容が、地域・産業ニーズを勘案し設定され、実施されていること。	教科指導計画書 各訓練科ごとに、ニーズ教科(学科・実技)が地域・産業ニーズを勘案し設定され、内容が適切で、随時改善されていること。	—	(A) B C	【課題】地域・産業ニーズの変化に対応して、1年課程のときよりもニーズ学科・実技を充実させた。 厚生労働省(職業能力開発促進法)、経済産業省(電気工事士法)の2つの基準に基づき設定している。	
		学科実施状況 学科指導に係る内容が計画どおり実施されていること。	—	(A) B C	【課題】指導内容の確認については、職員間及び職員と講師で内容の確認を口頭で行っているが、今後は、できる限り記録に残すよう努力する。	
		実技実施状況 実技指導に係る内容が計画どおり実施されていること。	—	(A) B C	【課題】指導内容の確認については、職員間及び職員と講師で内容の確認を口頭で行っているが、今後は、できる限り記録に残すよう努力する。	
		生活指導 生活指導に係る内容が適切であること。	—	(A) B C	【課題】2年課程になり、職業人に必要なマナー等の指導が、時間的余裕をもってできるようになった。 基本的なビジネスマナー、あいさつ、身だしなみなどの指導を授業全体に取り入れている。	

評 価 項 目				内 部 評 価		
大項目	中 項 目	小 項 目	指 標	(A)	B	C
1 普 通 課 程	(3)普通課程訓練環境 各訓練科の職業訓練目標の達成及び職業訓練内容の充実のため、必要な施設・設備の整備がなされていること。	施設整備 職業訓練に必要な施設が計画的に整備・改善され、活用されていること。	—	(A)	B	C
		設備整備 職業訓練に必要な設備が計画的に整備・改善され、活用されていること。	—	(A)	B	C
	(4)入学方法 入校希望者をその適性にあつた訓練科に受け入れることにより、訓練効果の向上が図られる選抜方法が採られていること。	応募状況 入校希望者への募集方法・内容等が適切であり、応募者が定員を上回っていること。	応募倍率 1.0以上	(A)	B	C
		入学試験 入校希望者（推薦・一般）の能力及び適性・意欲等が適切に把握できる選抜方法が採られていること。	—	(A)	B	C
	(5)就職状況 公共職業安定所、企業、関係機関等と密接な連携を図り、学生に対し、雇用情勢の情報収集や相談、指導等の就職支援がなされていること。	就職状況 雇用情勢の情報収集や相談、指導等の支援により、就職率が100%であること。	就職率 100%	A	B	C
		定着状況 卒業後3年経過後の定着率が概ね100%であること。	定着率 概ね 100%	A	B	C
(6)技能照査 各訓練科の普通課程において、高等技術専門学校が必要と認める技能・知識が修得されていること。	技能照査状況 高等技術専門学校が必要と認める技能・知識の修得度が高く、合格率が概ね100%であること。	合格率 概ね 100%	A	B	C	
				【課題】2年課程にあたって、教室や実習場等の施設は充実した。		
				【課題】実習機器等について年次計画に基づき、逐次整備している。		
				【課題】発足1年目であることから、広報活動などを継続して行い、さらに本科の内容周知について高等学校に図っていく。 応募倍率は1.5倍		
				【課題】応募者の適性や意欲を把握するため、入学試験内容を各校の担当者全員で検討し、適切な選抜方法について毎年改善が図られている。 面接試験の内容についても、今後も毎年検討していく。		
				【課題】新設科のためデータなし。 参考資料 電気科平成14年度就職率100%		
				【課題】新設科のためデータなし。 参考資料 電気科14年度合格率100%		

評 価 項 目				内 部 評 価		
大項目	中 項 目	小 項 目	指 標	A	B	C
1 普 通 課 程	(7)資格取得 各訓練科の普通課程において、資格取得目標が掲げられ、資格が取得されていること。	資格取得 各訓練科の普通課程において、資格取得目標が掲げられ、資格が取得されていること。	――	【課題】新設科のためデータなし。		
				参考資料 電気科の14年度は第1種電気工事士に1名合格している。		

総 合 評 価 (普通課程)

内 部 評 価		
①：評価できる	B：おおむね評価できるが一部改善を要する	C：改善を要する
<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気システム科は平成15年度、1年課程の電気科を再編整備して発足した。 ・今後は2年課程の掲げた目標を達成させるため努力していく。 ・就職先として電気工事関係だけでなく、高圧関係、電気の保守管理及び製造関係分野にも活躍できる人材の育成に努めていく。 <p>この評価は6ヶ月間の評価である。</p>		

〔 会津校 / 自動車実務科 〕

評 価 項 目				内 部 評 価			
大項目	中 項 目	小 項 目	指 標	(A)	B	C	
1 普 通 課 程	(1)普通課程訓練目標 多様な技能及びこれに関する知識を有する人材を育成し、地域・産業の発展に寄与するため、普通課程における職業訓練目標が、地域・産業ニーズを勘案し、訓練科ごとに設定され、かつ、実現に向け努力されていること。	目標設定 普通課程訓練目標が、訓練科ごとに設定され、適切であること。	――	(A)	B	C	
		ニーズ導入 普通課程訓練目標が、地域・産業ニーズを勘案し設定されていること。	――	(A)	B	C	
		目標達成 普通課程訓練目標の実現に向け、努力されていること。	――	(A)	B	C	
	(2)普通課程訓練内容 各訓練科の職業訓練目標の実現のため、必要な技能及び知識を習得させるための職業訓練内容が、地域・産業ニーズを勘案し設定され、実施されていること。	教科指導計画書 各訓練科ごとに、ニーズ教科(学科・実技)が地域・産業ニーズを勘案し設定され、内容が適切で、随時改善されていること。	――	(A)	B	C	
		学科実施状況 学科指導に係る内容が計画どおり実施されていること。	――	(A)	B	C	
		実技実施状況 実技指導に係る内容が計画どおり実施されていること。	――	(A)	B	C	
		生活指導 生活指導に係る内容が適切であること。	――	(A)	B	C	
					【課題】国(厚生労働省)の基準に基づいて設定しているが、更に国土交通省の自動車整備士養成施設の指定を受けていることから、その基準についても達成できる目標設定をしている。		
					【課題】毎年実施している職種別推進会議、普段から行っている企業訪問、更には、就職ガイダンス等で、地域・産業ニーズの把握をし設定している。		
					【課題】到達目標に沿った学科・実技試験等が実施されており適切である。		
				【課題】毎年職種別推進会議を開催する等して、地域・産業ニーズを把握し、国の基準の範囲内で実施している。			
				【課題】指導時間・指導内容の進行、管理を指導日誌で毎日管理している。 また、学生の習得状況は試験等で把握しており、指導内容の見直しは指導計画作成時に行っており適切である。 月末テスト等で、各教科の習熟度を把握している。			
				【課題】指導時間・指導内容の進行、管理を指導日誌で毎日管理している。 また、学生の習得状況は試験等で把握しており、指導内容の見直しは指導計画作成時に行っており適切である。 日々の実習レポートを週毎に確認している。			
				【課題】職業人として必要な基本的マナー等の指導については毎日実施している。特にあいさつの練習については、毎日実習前に行っている。 また、職場環境美化の観点から、プランターによる花の栽培、校周辺の清掃にも取り組んでいる。			

評 価 項 目				内 部 評 価		
大項目	中 項 目	小 項 目	指 標	A	(B)	C
1 普 通 課 程	(3)普通課程訓練環境 各訓練科の職業訓練目標の達成及び職業訓練内容の充実のため、必要な施設・設備の整備がなされていること。	施設整備 職業訓練に必要な施設が計画的に整備・改善され、活用されていること。	—	A (B) C 【課題】実習場の面積については国の基準に達しているが、形状が不整形であるので、教材車の配置が思うように行えない。 実習場には空調設備がなく、会津は積雪、寒冷地域であるため、冬季の実習で苦労している。		
		設備整備 職業訓練に必要な設備が計画的に整備・改善され、活用されていること。	—	(A) B C 【課題】職種別推進会議の意見を取り入れ機器整備計画を年次毎に立てている。 また、整備された設備を効率的に活用している。		
	(4)入学方法 入学希望者をその適性にあつた訓練科に受け入れることにより、訓練効果の向上が図られる選抜方法が採られていること。	応募状況 入学希望者への募集方法・内容等が適切であり、応募者が定員を上回っていること。	応募倍率 1.0以上	(A) B C 【課題】募集資料の改善、入試説明会や学校訪問等を効果的に行っている。 応募倍率 3.25		
		入学試験 入学希望者（推薦・一般）の能力及び適性・意欲等が適切に把握できる選抜方法が採られていること。	—	(A) B C 【課題】応募者の適性や意欲を把握するため、入学試験内容を各校の担当者全員で検討し、円滑な試験運営ができるようにしている。		
	(5)就職状況 公共職業安定所、企業、関係機関等と密接な連携を図り、学生に対し、雇用情勢の情報収集や相談、指導等の就職支援がなされていること。	就職状況 雇用情勢の情報収集や相談、指導等の支援により、就職率が100%であること。	就職率 100%	(A) B C 【課題】就職に関する相談、指導等を十分に行うとともに、企業の求人開拓を行い、就職100%を達成している		
		定着状況 卒業後3年経過後の定着率が概ね100%であること。	定着率 概ね 100%	A (B) C 【課題】就職指導をする際に学生個人の適性を把握し、求職先を紹介していく。		
	(6)技能照査 各訓練科の普通課程において、高等技術専門校が必要と認める技能・知識が修得されていること。	技能照査状況 高等技術専門校が必要と認める技能・知識の修得度が高く、合格率が概ね100%であること。	合格率 概ね 100%	(A) B C 【課題】習得目標に沿った技能照査内容で、合格率も100%を達成している。		

評 価 項 目				内 部 評 価		
大項目	中 項 目	小 項 目	指 標	(A)	B	C
1 普 通 課 程	(7)資格取得 各訓練科の普通課程において、資格取得目標が掲げられ、資格が取得されていること。	資格取得 各訓練科の普通課程において、資格取得目標が掲げられ、資格が取得されていること。	――	【課題】二級自動車整備士取得を最優先課題に考えている。全国平均は上回っているが、常に100%取得できるよう努力していきたい。 (ガソリン、ジーゼル2種目 100%達成14年度実績)		

総 合 評 価 (普通課程)

内 部 評 価		
(A): 評価できる	B: おおむね評価できるが一部改善を要する	C: 改善を要する
<p>【内容】</p> <p>国土交通省指定の二級自動車整備士養成施設であることを前提に、職種別推進会議等における地域・産業ニーズを踏まえ、就職してからお客様にサービスを提供できる技術者育成のため、職員、講師間の連携を取りながら、きめ細かな指導を実施している。</p> <p>また、地球環境問題がクローズアップされている現代、自動車の技術は刻々と進歩している。それらに迅速且つ柔軟に対応できる学生の育成を図りたい。</p> <p>さらに、学生が卒業後職場において、一級自動車整備士を受験するために十分な知識、技術を自から学び、維持していくことのできるよう指導内容の高度化を図る。</p>		

評 価 項 目				内 部 評 価		
大項目	中 項 目	小 項 目	指 標			
普 通 課 程	(1)普通課程訓練目標 多様な技能及びこれに関する知識を有する人材を育成し、地域・産業の発展に寄与するため、普通課程における職業訓練目標が、地域・産業ニーズを勘案し、訓練科ごとに設定され、かつ、実現に向け努力されていること。	目標設定 普通課程訓練目標が、訓練科ごとに設定され、適切であること。	—	Ⓐ	B	C
		【課題】国の基準に基づき設定しており適切である。				
		ニーズ導入 普通課程訓練目標が、地域・産業ニーズを勘案し設定されていること。	—	Ⓐ	B	C
		【課題】訓練目標に地域・産業ニーズを把握し導入しており適切である。				
	目標達成 普通課程訓練目標の実現に向け、努力されていること。	—	Ⓐ	B	C	
		【課題】到達目標に沿った学科・実技試験等が実施されており適切である。				
	(2)普通課程訓練内容 各訓練科の職業訓練目標の実現のため、必要な技能及び知識を習得させるための職業訓練内容が、地域・産業ニーズを勘案し設定され、実施されていること。	教科指導計画書 各訓練科ごとに、ニーズ教科（学科・実技）が地域・産業ニーズを勘案し設定され、内容が適切で、随時改善されていること。	—	Ⓐ	B	C
			【課題】毎年、地域・産業ニーズを反映した計画が策定されており適切である。			
		学科実施状況 学科指導に係る内容が計画どおり実施されていること。	—	Ⓐ	B	C
	【課題】指導時間・指導内容の進行管理が教科指導日誌で毎日管理している。 学生の習得状況は試験等で把握している。 指導内容の見直しは指導計画作成時に行い、適切である。					
実技実施状況 実技指導に係る内容が計画どおり実施されていること。	—	Ⓐ	B	C		
	【課題】指導時間・指導内容の進行管理が教科指導日誌で毎日管理している。 学生の習得状況は試験等で把握している。 指導内容の見直しは指導計画作成時に行い、適切である。					
生活指導 生活指導に係る内容が適切であること。	—	A	Ⓑ	C		
	【課題】職業人として必要な基本的マナー等の指導は、毎日実施しているが、目標達成までは至っておらず、さらに指導力の研鑽が必要。					

評 価 項 目				内 部 評 価		
大項目	中 項 目	小 項 目	指 標	(A)	B	C
1 普 通 課 程	(3)普通課程訓練環境 各訓練科の職業訓練目標の達成及び職業訓練内容の充実のため、必要な施設・設備の整備がなされていること。	施設整備 職業訓練に必要な施設が計画的に整備・改善され、活用されていること。	—	(A)	B	C
		設備整備 職業訓練に必要な設備が計画的に整備・改善され、活用されていること。	—	(A)	B	C
	(4)入学方法 入校希望者をその適性にあった訓練科に受け入れることにより、訓練効果の向上が図られる選抜方法が採られていること。	応募状況 入校希望者への募集方法・内容等が適切であり、応募者が定員を上回っていること。	応募倍率 1.0以上	(A)	B	C
		入学試験 入校希望者（推薦・一般）の能力及び適性・意欲等が適切に把握できる選抜方法が採られていること。	—	(A)	B	C
	(5)就職状況 公共職業安定所、企業、関係機関等と密接な連携を図り、学生に対し、雇用情勢の情報収集や相談、指導等の就職支援がなされていること。	就職状況 雇用情勢の情報収集や相談、指導等の支援により、就職率が100%であること。	就職率 100%	(A)	B	C
		定着状況 卒業後3年経過後の定着率が概ね100%であること。	定着率 概ね 100%	A	B	(C)
(6)技能照査 各訓練科の普通課程において、高等技術専門学校が必要と認める技能・知識が修得されていること。	技能照査状況 高等技術専門学校が必要と認める技能・知識の修得度が高く、合格率が概ね100%であること。	合格率 概ね 100%	(A)	B	C	

【課題】施設は基準を満たしているが、老朽化に備えた今後の整備計画を立てるとともに、さらに施設活用に、工夫していく。

【課題】各設備の老朽化に備え、今後設備の更新計画を作成していく必要がある。

【課題】募集資料の改善、入試説明会や学校訪問等が効果的に行っている。さらに応募者の増化を図るため、県全域の広範囲な募集活動を展開する必要がある。
応募倍率 1.4

【課題】応募者の適性や意欲を把握するため、入学試験内容を各校の担当者全員で検討し、スムーズな試験運営ができるようにしている。

【課題】学生の能力や適性等を十分にとらえるため相談、指導を十分に行うとともに、企業の求人開拓を行い、就職100%を達成している。

【課題】各企業からの意見を基にして企業に適應できる学生指導や、インターンシップで学生に企業の業務体験をさせる等により定着率を、改善していく必要がある。

【課題】修得目標に沿った技能照査内容で、合格率も100%を達成している。

評 価 項 目				内 部 評 価
大項目	中 項 目	小 項 目	指 標	
1 普 通 課 程	(7)資格取得 各訓練科の普通課程において、資格取得目標が掲げられ、資格が取得されていること。	資格取得 各訓練科の普通課程において、資格取得目標が掲げられ、資格が取得されていること。	――	A (B) C
				【課題】産業ニーズに応じた目標を設定している。ただし、一部の資格については合格率を全国平均値にする必要がある。

総 合 評 価 (普通課程)

内 部 評 価	
A : 評価できる (B): おおむね評価できるが一部改善を要する C : 改善を要する	
【内容】 関係企業でのインターンシップを計画的に導入し、職業人として求められるマナー等の修得の必要性を実際に体験することにより学生に職業人として必要なものを自覚させ、卒業後の定着率向上をめざす。	

評 価 項 目				内 部 評 価
大項目	中 項 目	小 項 目	指 標	
1 普 通 課 程	(3)普通課程訓練環境 各訓練科の職業訓練目標の達成及び職業訓練内容の充実のため、必要な施設・設備の整備がなされていること。	施設整備 職業訓練に必要な施設が計画的に整備・改善され、活用されていること。	—	Ⓐ B C 【課題】施設は基準を満たしている。さらに活用し易い方向に、工夫している。
		設備整備 職業訓練に必要な設備が計画的に整備・改善され、活用されていること。	—	Ⓐ B C 【課題】設備は基準を満たしている。さらに設備の有効活用を図っていく。
	(4)入学方法 入学希望者をその適性にあった訓練科に受け入れることにより、訓練効果の向上が図られる選抜方法が採られていること。	応募状況 入学希望者への募集方法・内容等が適切であり、応募者が定員を上回っていること。	応募倍率 1.0以上	Ⓐ B C 【課題】募集資料の改善、入試説明会や学校訪問等を効果的に行っている。さらに応募者の増加を図るため、県全域の募集活動を展開していく。応募倍率1.1倍
		入学試験 入学希望者（推薦・一般）の能力及び適性・意欲等が適切に把握できる選抜方法が採られていること。	—	Ⓐ B C 【課題】応募者の能力を適切に把握するため、入学試験内容を毎年検討委員会を中心に研究し、円滑な運営ができるようにしている。
	(5)就職状況 公共職業安定所、企業、関係機関等と密接な連携を図り、学生に対し、雇用情勢の情報収集や相談、指導等の就職支援がなされていること。	就職状況 雇用情勢の情報収集や相談、指導等の支援により、就職率が100%であること。	就職率 100%	Ⓐ B C 【課題】学生の能力や適性等をとらえるための相談、指導を行うとともに、求人開拓により、就職100%を達成している。
		定着状況 卒業後3年経過後の定着率が概ね100%であること。	定着率 概ね 100%	A B Ⓒ 【課題】企業等の意見をもとに、定着向上のための職業観や勤労観の形成の指導に取り組んでいく必要がある。（参考：平成13年度新設科のため、1年課程の評価である。）
(6)技能照査 各訓練科の普通課程において、高等技術専門学校が必要と認める技能・知識が修得されていること。	技能照査状況 高等技術専門学校が必要と認める技能・知識の修得度が高く、合格率が概ね100%であること。	合格率 概ね 100%	Ⓐ B C 【課題】修得目標に沿った技能照査内容で、合格率も100%を達成している。	

評 価 項 目				内 部 評 価		
大項目	中 項 目	小 項 目	指 標	A	(B)	C
1 普 通 課 程	(7)資格取得 各訓練科の普通課程において、資格取得目標が掲げられ、資格が取得されていること。	資格取得 各訓練科の普通課程において、資格取得目標が掲げられ、資格が取得されていること。	—	【課題】一部の資格については目標を下回っているものもある。 資格取得への目的意識を持たせ、合格率の向上を図る必要がある。		

総 合 評 価 (普通課程)

内 部 評 価		
A : 評価できる (B) : おおむね評価できるが一部改善を要する C : 改善を要する		
【内容】		
<ul style="list-style-type: none"> ・平成13年度に2年課程の観光サービス科へ再編整備されて3年目を迎えたので、これまでのカリキュラム内容を再点検し、より効果のあがる内容にしていく必要がある。 ・県内外のすぐれたサービス提供をしている企業等の現地調査、事例研究を行い、常に「最高のサービスとは何か」を考える力を養うとともに、より実践的な知識技能の修得に努める。 ・エコツーリズムなどの理論と実践及び個々のホテル・旅館等にとどまらず地域全体で誘客に取り組んでいる全国の事例調査をするなどして、接客サービス技術・技能に加えて、接客サービス業で求められる企画力の修得を強化する。 		

評 価 項 目				内 部 評 価		
大項目	中 項 目	小 項 目	指 標			
2 在 職 者 訓 練	(8)在職者訓練目標 キャリアアップ等を図るための在職者訓練目標が、地域・産業ニーズを踏まえ設定されていること。	目標設定 目標が、在職者訓練コースごとに設定され、適切であること。	――	(A) B C	【課題】在職者のキャリアアップを図る目的として設定され、国の基準にも適合している。	
		ニーズ導入 目標が、地域・産業ニーズを勘案し設定されていること。	――	A (B) C	【課題】能力開発推進会議、企業の意見を勘案して設定されているが、企業訪問等の調査については調査が十分とは言い難い。	
		目標達成 在職者訓練目標の実現に向け、努力されていること。	――	(A) B C	【課題】受講状況については訓練時間割と出席簿により、内容理解についてはアンケートにより確認している。	
	(9)募集方法 地域企業等在職者に訓練コースの内容が周知されていること。	募集方法 地域企業等在職者に訓練コースの内容が周知されていること。	――	A (B) C	【課題】パンフレット、市町村広報誌掲載により周知している。しかしパンフレット配布は限られた団体のみで、十分とは言い難い。	
		(10)在職者訓練内容 在職者訓練目標の実現のため、必要な技能及び知識を習得させるための在職者訓練が、地域・産業ニーズを踏まえ設定されていること。	在職者訓練計画 在職者訓練が、地域・産業ニーズを踏まえ設定され、内容が適切で、随時改善されていること。	――	A (B) C	【課題】コースの内容についてはアンケート調査により次年度に向けて改善しているが、要望事項の一部については対応していないものもある。
	在職者訓練実施状況 学科・実技指導に係る内容が計画どおり実施されていること。		――	(A) B C	【課題】教科指導計画に基づき計画通り実施している。	
(11)在職者訓練環境 在職者訓練の目標の達成及び内容の充実のため、必要な施設・設備整備がなされていること。	施設整備 在職者訓練のために必要な施設が計画的に整備され、改善されていること。	――	A (B) C	【課題】普通課程の計画と調整を図って、有効利用をしているが、資格取得受験対策コースでは、試験日が普通課程の学生と同じであるため普通課程の教育訓練と重複し、調整にも限度が生ずる場合もある。		

評 価 項 目				内 部 評 価		
大項目	中 項 目	小 項 目	指 標	(A)	B	C
2 在 職 者 訓 練	(11) " 在職者訓練の目標の達成及び内容の充実のため、必要な施設・設備整備がなされていること。	設備整備 在職者訓練のために必要な設備が計画的に整備され、改善されていること。	—	【課題】普通課程の計画の中に折り込んで、計画的に整備改善している。		

総 合 評 価 (在 職 者 訓 練)

内 部 評 価		
A : 評価できる (B) : おおむね評価できるが一部改善を要する C : 改善を要する		
【内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・教務課職員の協力と普通課程の施設・設備の活用により、普通課程学科と関連の深い分野を中心に実施している。 ・広報・募集方法については更に改善を要する。 		

評 価 項 目				内 部 評 価		
大項目	中 項 目	小 項 目	指 標	(A)	B	C
3 離 転 職 者 訓 練	(12) 離転職者訓練目標 キャリアアップ等を図り、再就職を支援するための離転職者訓練目標が、 地域・産業ニーズ を踏まえ設定されていること。	目標設定 目標が、離転職者訓練コースごとに設定され、適切であること。	—	(A)	B	C
		【課題】在職者のキャリアアップを図る目的として設定され、国の基準にも適合している。				
		ニーズ導入 目標が、 地域・産業ニーズ を勘案し設定されていること。	—	(A)	B	C
		【課題】公共職業安定所の求人求職情報で地域・産業ニーズを把握し、これを参考に目標を設定している。				
		目標達成 離転職者訓練目標の実現に向け、努力されていること。	—	(A)	B	C
		【課題】 日程表、出席簿により目標達成に努力している。				
	(13) 募集方法 離転職者に訓練コースの内容が周知されていること。	募集方法 離転職者に訓練コースの内容が周知されていること。	—	(A)	B	C
		【課題】 各種説明会で訓練内容について説明し、定員を超える応募者を確保している。				
	(14) 離転職者訓練内容 離転職者訓練目標の実現のため、必要な技能及び知識を習得させるための離転職者訓練が、 地域・産業ニーズ を踏まえ設定されていること。	離転職者訓練計画 離転職者訓練が、 地域・産業ニーズ を踏まえ設定され、内容が適切で、随時改善されていること。	—	(A)	B	C
	【課題】 公共職業安定所の求人求職情報により地域・産業ニーズを踏まえたカリキュラムを作成し、随時改善している。					
	離転職者訓練実施状況 学科・実技に係る内容が計画どおり実施されていること。	—	(A)	B	C	
	【課題】 日程表、出席簿により実施している。 資格取得が可能なコースについては、受講者のほぼ全員が取得している。					
(15) 就職支援 公共職業安定所等との連携により、求職者への各種再就職支援活動が行われていること。	支援状況 公共職業安定所等との連携により、求職者への各種再就職支援が適切に行われていること。	—	(A)	B	C	
	【課題】 カリキュラムに公共職業安定所の就職指導を組み入れ、また巡回就職指導員による就職相談、公共職業安定所の求人情報の提供等で就職支援を実施している。					

評 価 項 目				内 部 評 価		
大項目	中 項 目	小 項 目	指 標	A	(B)	C
3 離 転 職 者 訓 練	(15) " 公共職業安定所等との連携により、求職者への各種再就職支援活動が行われていること。	就職状況 公共職業安定所等との連携により、就職していること。	—	【課題】職業能力の向上は図られたが、厳しい雇用情勢により雇用に至っていない場合がある。		

総 合 評 価 (離 転 職 者 訓 練)

内 部 評 価		
A : 評価できる (B): おおむね評価できるが一部改善を要する C : 改善を要する		
【内容】 訓練修了後の就職率を高める対策を、公共職業安定所の指導助言のもと委託先事業者とともに研究していく必要がある。		

(様式1)

高等技術専門校評価システム 内部評価表

[会津校]

評価項目				内部評価		
大項目	中項目	小項目	指標	(A)	B	C
4 運 営	(16)組織・管理運営 普通課程・在職者訓練・離転職者訓練における目標の達成及び内容の充実のため、十分な支援体制がとられていること。	訓練組織 普通課程・在職者・離転職者訓練における目標の達成及び内容の充実のため、指導体制が十分とられていること。	—	(A)	B	C
		指導員研修 指導員の知識・技能等を高めるための各種研修が、地域・産業ニーズを踏まえ実施されていること。	—	A	(B)	C
		地域職業能力開発推進会議(協議会) 同会議の開催により地域・産業ニーズ等を把握し、各訓練科の教育内容の充実に活かしていること。	—	(A)	B	C
	(17)福利厚生 学生が目標に向かって充実した生活を営めるよう、図書室・食堂・寮・体育館・グラウンド等の施設整備がなされていること。	福利厚生施設 学生の福利厚生に必要な施設が計画的に整備され、改善されていること。	—	A	(B)	C

総合評価(運営)

内部評価		
A: 評価できる (B): おおむね評価できるが一部改善を要する C: 改善を要する		
【内容】 ・組織管理運営については、職員と非常勤講師による組織体制はできているが、職員の指導技法等の向上を図るための研修を実施する場合、職員数に余裕がないため業務に困難が生じる場合もある。		